

2009 年度春大会（徳島大会）に関するアンケート調査結果について

1. アンケート調査の概要

(1) 実施期間

平成 21 年 6 月 14 日～21 日（春大会終了後）

(2) 実施方法

Web 上での回答

(3) 質問項目

p.4 参照

(4) 回答数

174（内訳は以下の通り）

（発表 117，発表・オーガナイザー・司会 32，オーガナイザー・司会 4，聴講のみ 21）

（教員 64，公務員 12，コンサルタント 45，建設業 2，運輸業 3，学生 34，その他 14）

2. アンケート調査の結果

(1) 結果の概要

- ・ 選択式の回答および自由記述の内容を総合すると、多くの人が 8 会場程度を上限とすることを適切と考えている一方、1 件当たりの発表時間の増加を望んでいることがうかがえる。
- ・ そのための具体的な方策として、ポスターセッションの活用、オーガナイザーによるセレクション、3 日開催など様々な案が挙げられており、2010 年度春大会の幹事会において検討したい。

(2) 会場数について

- ・ 8 会場程度を上限として並行セッション数を抑えることについて、全体の 54%（174 人中 94 人）が「適切である」と回答しており、「まだ多いと思う」（13%，23 人）と合わせると 67%の人が 8 会場程度を上限とすることを是としているものと考えられる。
- ・ 一方で 33%（174 人中 57 人）が「もう少し増やしてほしい」と回答している。
- ・ 上記について、属性別（発表，オーガナイザー等）で大きな違いは見られない。

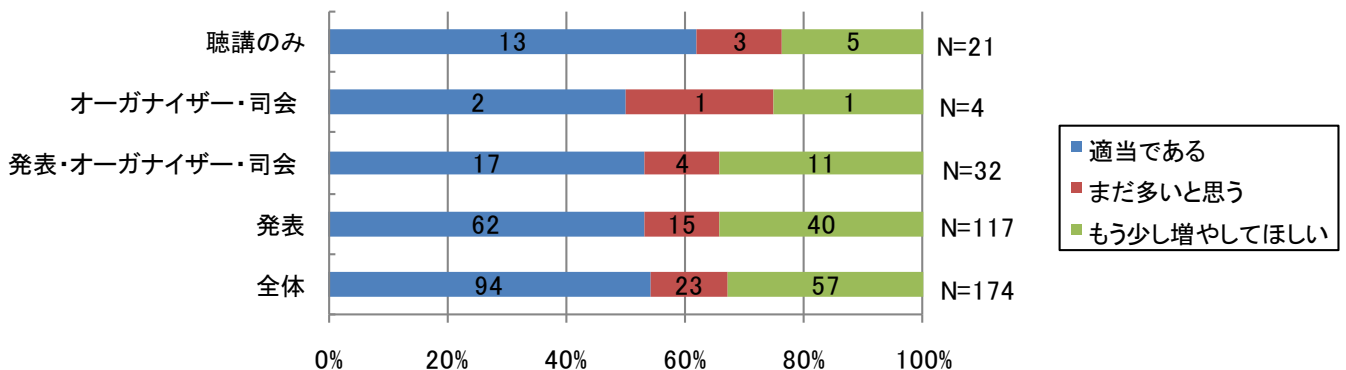


図-1 会場数について

(3) 「ポスター掲示可能なセッション」について

- ・ 「ポスター掲示可能なセッション」に「参加した（発表，司会，聴講）」と回答したのは全体の 43% である。このうちの 57.3%（75 人中 43 人）が導入したことに對して「良かった」と答えており，「口頭発表セッションの方がよい」の 20%（75 人中 15 人）を大きく上回っている。
- ・ 一方「参加しなかった」と回答した人については，大半が「なんともいえない」と答えている。

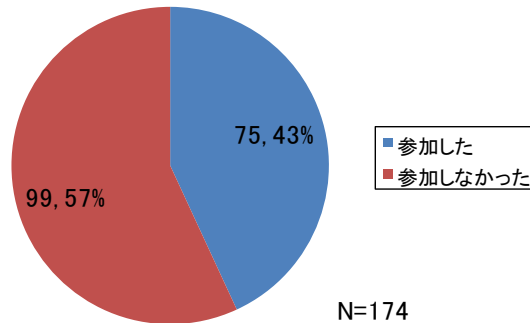


図-2 「ポスター掲示可能なセッション」の参加について

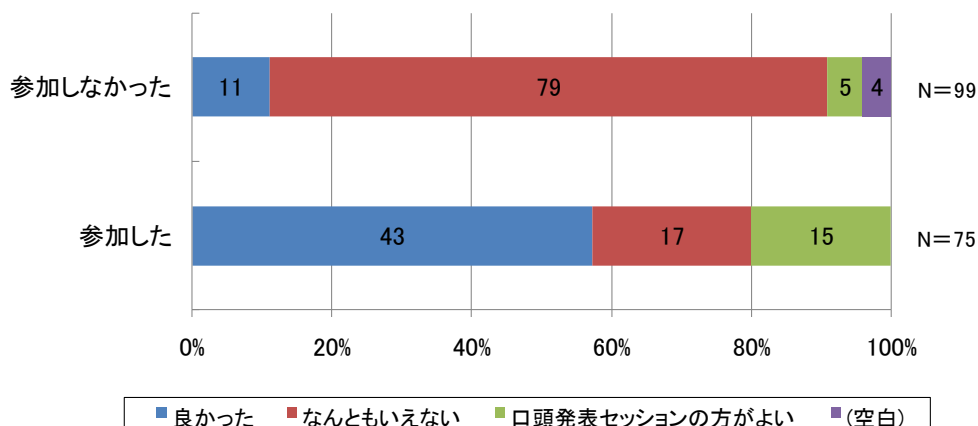


図-3 「ポスター掲示可能なセッション」の導入について

(4) 「若手研究者セッション」について

- ・ 「若手研究者セッション」に「参加した（発表，コメンテーター，聴講）」と回答したのは全体の 26% である。このうちの 39%（46 人中 18 人）が「良かった」と答えており，「他部門（企画・SS）のセッションを設置して有効に使った方がよい」の 22%（46 人中 10 人）を上回っている。
- ・ 一方「参加しなかった」と回答した人については，大半が「なんともいえない」と答えているが，16%（128 人中 21 人）が「他部門のセッションを設置して有効に使った方がよい」と答えている。

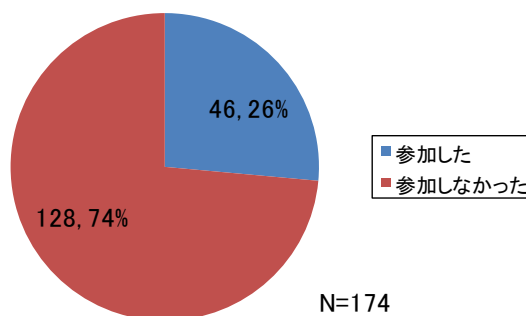


図-4 「若手研究者セッション」の参加について

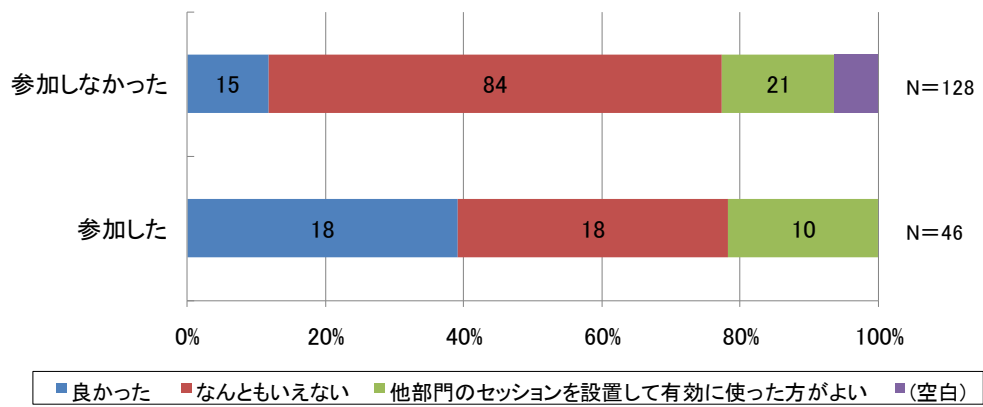


図-5 「若手研究者セッション」の導入について

<アンケート調査票>

土木計画学研究発表会の春大会は、1) 研究発表会の質的充実、2) 秋大会の負担軽減、3) 土木技術者資格制度への対応を趣旨として2002年に開始され、今回で8度目となります。その間発表件数は増加を続け、大会規模も大きくなっております。今大会では当初の目的である発表会の質的充実化を図るとともに、開催校の負担軽減による持続的な運営を可能とするためにいくつかの取り組みを行いました。次年度の大会をさらに良いものとするため、以下のアンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

【問1】会場数について

今大会では会場数を8会場とすることで、並行セッション数を削減しました。一方で発表件数は410件(企画+若手)と前回大会から27件増加したため、セッションによっては1件当たりの発表時間が従来と比べて短くなっております。8会場程度を上限として並行セッション数を抑えることについてのお考えをお聞かせください。

1. 適当である
2. まだ多いと思う
3. もう少し増やしてほしい

【問2】「ポスター掲示可能なセッション」(新設)について

今大会では限られた時間内により多くの論文発表と議論を行う方法として、新たに「ポスター掲示が可能なセッション」を導入しました(5件の企画テーマで採用)。

(1)「ポスター掲示が可能なセッション」に参加(発表、司会、聴講)されましたか。

1. 参加した
2. 参加しなかった

(2)「ポスター掲示が可能なセッション」を導入して良かったと思いますか。

1. 良かった
2. なんともいえない
3. 口頭発表セッションの方がよい

【問3】若手研究者セッションについて

今大会では若手セッションの活性化のため、同じ時間帯に他部門のセッションを設置しませんでした。

(1)若手研究者セッションに参加(発表、コメント、聴講)されましたか。

1. 参加した
2. 参加しなかった

(2)他部門(企画、SS等)のセッションを設置しなくて良かったと思いますか。

1. 良かった
2. なんともいえない
3. 他部門のセッションを設置して有効に使った方がよい

【問4】企画論文部門のより良い運営方法について、ご意見がございましたらお聞かせください。

【問5】今後の春大会の運営について、どのようなことでも構いませんのでご意見をいただければ幸いです。

【問6】あなたご自身のことについて伺います。

(1)今回のあなたの参加について伺います。

1. 発表
2. オーガナイザー・司会
3. オーガナイザー・司会・発表
4. 聴講のみ

(2)あなたの職業は

1. 教員
2. 公務員
3. コンサルタント
4. 建設業
5. 運輸業
6. 学生
7. その他